

VMware Horizon 7

概要

VMware Horizon® 7 では単一のプラットフォームから、仮想/ホスト型デスクトップやアプリケーションをエンド ユーザーに提供できます。これらのデスクトップや RDS (リモート デスクトップ サービス) ホスト型アプリケーション (公開アプリケーション)、VMware ThinApp® を使用した仮想アプリケーション、SaaS アプリケーション、Citrix の提供する仮想アプリケーションを含むアプリケーション サービスには、デバイス、場所、メディア、接続方法を問わず、品質やユーザーの操作性を損なうことなく単一のデジタルワークスペースからアクセスできます。

Horizon 7 では、モバイルとクラウドのメリットを活用することで、かつてないシンプルさ、セキュリティ、スピード、規模を低コストで実現し、仮想デスクトップ インフラストラクチャを劇的に変革させることが可能です。

最新情報

モバイル環境とクラウド環境のメリットを活用する Horizon 7 は、仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) を大きく変革し、これまでにないシンプルさ、セキュリティ、スピード、規模を低コストで実現できます。既存のソリューションと比較して最短で 30 分の 1 の期間で運用を開始できるだけでなく、コストを半分に削減することができます。

エンド ユーザー コンピューティングの現状

エンド ユーザーが業務で新しいデバイスを利用することが増え、Windows や Linux のアプリケーションだけでなく、iOS や Android のアプリケーションも活用されており、現在かつてないほどのモバイル化が進んでいます。

この新しいモバイル クラウドの世界では、従来の PC に特化したツールを使用してエンド ユーザーにサービスを提供し、管理することは、ますます困難となります。実際のセキュリティやコンプライアンスの問題として、データの損失やイメージの流出が懸念されています。また、企業はコストの抑制に苦しんでいます。Horizon 7 では、IT 部門はコストを抑制し、エンド ユーザーに時間、場所、デバイスを問わず利用できる作業環境を提供しながら、新しい効率的な方法で、Windows や Linux のデスクトップおよびアプリケーションを提供、保護、管理することができます。

Horizon 7：デスクトップおよびアプリケーションをサービスとして提供

Horizon 7 では、イメージを統合管理することで、管理の効率化、コスト削減、コンプライアンスの維持を行うことができます。また、単一のプラットフォームを通じて、仮想/ホスト型デスクトップやアプリケーションをエンド ユーザーに提供することも可能です。これらのデスクトップや、RDS ホスト型アプリケーション、ThinApp を使用した仮想アプリケーション、SaaS アプリケーション、Citrix の提供する仮想アプリケーションを含むアプリケーション サービスへ単一の統合ワークスペースからアクセスできます。これにより、ユーザーが望むスピードとビジネスに必要な効率性を満たしながら、エンド ユーザーが必要とするすべてのリソースを提供できます。

デスクトップおよびアプリケーションを単一のプラットフォームで提供

VMware の次世代 JMP プラットフォームを通じて仮想/ホスト型デスクトップおよびアプリケーションを提供することで、管理を効率化し、エンド ユーザー権限を容易に設定できます。またデバイスや場所を問わず、デスクトップおよびアプリケーションをエンド ユーザーに迅速に提供します。

また、Horizon 7 の単一のプラットフォームでは、Microsoft Remote Desktop Services (RDS)、仮想デスクトップ、ThinApp のパッケージ アプリケーションを使用して、ホスト型 Windows アプリケーションや共有デスクトップ セッションを Windows Server インスタンスから提供できます。Horizon 7 は、RHEL、Ubuntu、CentOS、NeoKylin などの Linux ベースのデスクトップと、Windows ベースのデスクトップの両方をサポートしています。

統合されたデジタルワークスペース

Horizon 7 は、リアルタイム検証をサポートしており、Active Directory や LDAP などの複数の ID ソースにわたる ID 管理の効率化や、コンテキストに対応するカスタマイズ可能なアクセスをエンド ユーザーに提供できます。エンド ユーザーは単一の統合ワークスペースを介してリソースへのアクセスが可能です。

また、Horizon 7 は、2 要素認証、スマート カード認証、生体認証をサポートするほか、米国連邦政府機関のコンプライアンスなどの、もっとも要求の厳しい基準に対応するよう設計され、認証を取得しています。

デジタル ワークスペースにおいて、セキュアに提供および利用できるデスクトップやアプリケーションは次のとおりです。

- Horizon 仮想デスクトップ
- XenApp 5.0 以降
- Windows Server 2008 以降での RDS ホスト型のアプリケーションおよびデスクトップ
- SaaS アプリケーション
- ThinApp 5.0 以降
- VMware Horizon Cloud デスクトップおよび Horizon Cloud アプリケーション



図 1: デジタルワークスペース

Instant Clone テクノロジーによるジャストインタイムの提供

Instant Clone テクノロジーと VMware App Volumes™ を組み合わせて利用することで、インフラストラクチャの要件を大幅に削減しながら、セキュリティを向上させることが可能です。VMware の JMP プラットフォームによって、エンド ユーザーがログインするたびに、カスタマイズされた新しいデスクトップと公開アプリケーションを即座に提供できます。

- エンド ユーザーがログインするたびに、パフォーマンスの高いカスタマイズされた初期状態のデスクトップを提供
- ボタン 1 つで容易に公開アプリケーションの規模を拡大し、展開時間を 5 ~ 10 倍高速化するとともに、イメージ増加の要因を抑制
- 緊密に連携するスタックと少数のコンポーネントによる展開の簡素化により、競合他社のソリューションと比較して展開や規模拡大時に必要な手順を半減
- ユーザーのログオフと同時にデスクトップを破棄することで、エンドポイントのセキュリティに関する懸念を低減
- 必要なインフラストラクチャをプールすることでコストを大幅に削減し、真のステートレスデスクトップによりストレージ コストを最大 30 % 削減。また、ユーザーのニーズに応えるカスタマイズ機能を実現
- 最新の Cloud Pod アーキテクチャにより、50 以上のサイト間で 5 万台以上のデスクトップへの拡張をサポート。また、フェイルオーバーの機能が向上し、従来のデスクトップ仮想化モデルの数分の 1 の時間で実行

機能豊富で適応性に優れた、コラボレーション対応のユーザー使用環境

Horizon 7 は、デバイス、場所、メディア、接続方法を問わず、一貫性のある優れた環境をエンド ユーザーに提供します。最新の Horizon 7 のリリースでは、帯域幅の使用率を最大 50 % 向上し、エンド ユーザーの生産性を最大化する豊富な機能と Blast Performance 機能により、あらゆるユースケースに対応することが可能です。

Blast Performance に含まれる機能

- **Blast Unity Touch** : デバイスを問わず、コンテキストに応じて直感的に使用できるユーザー使用環境を提供。これにより、Windows をモバイル デバイスで容易に実行することが可能
- **Blast Local Access** : ローカル デバイスやドライブ、USB、周辺機器へのアクセス
- **Horizon Clients for Blast** : デバイスの種類や場所を問わず、一貫した最高クラスの使用環境を実現する統合クライアント
- **Blast Adaptive UX** : WAN と LAN を使用した HTML ブラウザ経由のアクセス、PCoIP ディスプレイ プロトコルまたは Blast Extreme ディスプレイ プロトコルを使用した Horizon Client 経由のアクセスの最適化。Blast Extreme は、業界標準の H.264 プロトコルに基づき、モバイル クラウド環境専用開発され、最適化されている
- **Blast Extreme Adaptive Transport (BEAT)** : 企業 LAN から公衆 Wi-Fi やモバイル ネットワークまで、あらゆるネットワークで優れたユーザー使用環境を実現
- **Blast Multimedia** : 高パフォーマンスのマルチメディア ストリーミングにより優れたユーザー使用環境を実現
- **Blast 3D** : 仮想デスクトップおよび RDS ホスト型アプリケーションの NVIDIA GRID vGPU にも対応したワークステーションレベルのパフォーマンスを提供する、充実した仮想グラフィックス機能
- **Blast Live Communications** : 完全に最適化されたユニファイド コミュニケーション機能や、リアルタイムのオーディオおよびビデオのサポート。Horizon 7 は、Windows 10 上での Microsoft Lync の使用をサポート

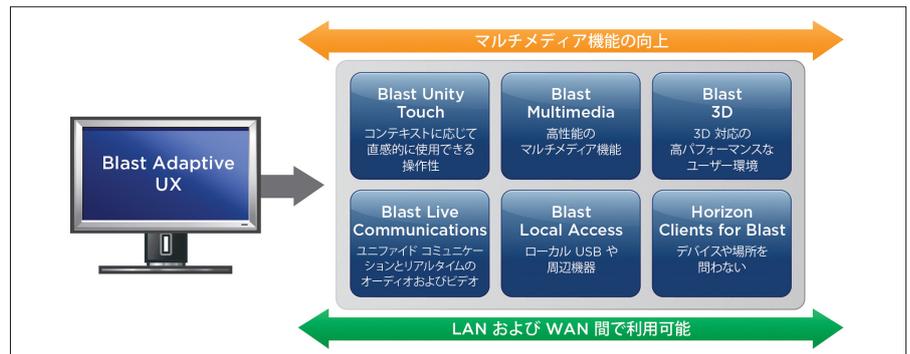


図 2 : Horizon Blast Performance が実現する、デバイスや場所を問わない適応性に優れた使用環境

Session Collaboration

1 台のデスクトップを複数のユーザーで表示、変更できます。医療機関、設計、エンジニアリング、教育機関における同業他社のレビュー、設計の反復、トレーニングに非常に役立ちます。デスクトップの所有者は、自分のデスクトップに複数のユーザーを招待して、リアルタイムで共同作業を行うことができます。すべてのユーザーに優れた使用環境が提供されます。

スマート ポリシーと効率的なアクセス

あらゆるデスクトップおよびアプリケーション サービス間の認証を簡素化する一方で、コンテキストに応じた役割ベースのスマート ポリシーを使用してセキュリティを向上することで、エンド ユーザーの満足度を高めます。

- エンド ユーザーのコンテキストに応じた役割ベースのセキュリティをサポート。ユーザー、デバイス、場所に応じて容易にポリシーを割り当て可能
- 真のシングル サインオン (SSO) 機能により、パスワードを入力せずに、クリック 1 回で Windows デスクトップ サービスにアクセス可能
- 複数の ID ソース全体で効率的に ID を管理。エンド ユーザーは 1 つの統合ワークスペースからリソースへ容易にアクセス可能

包括的な Workspace Environment Management ソリューション

IT 部門は緊密に連携する Horizon 7 の単一のプラットフォームを使用して、ユーザーのコンピューティング リソースの統合管理、提供の自動化、保護を行うことができます。



図 3 : Horizon 7 による、包括的な Workspace Environment Management ソリューション

ユーザー環境の管理およびカスタマイズ

VMware User Environment Manager™ は、あらゆる仮想環境、物理環境、クラウドベースの環境全体に、カスタマイズと動的なポリシー設定機能を提供します。

- 既存のインフラストラクチャを利用する、単一のスケーラブルなソリューションを提供することで、エンド ユーザーのプロファイル管理を簡素化
- エンド ユーザーに Windows のワークスペースやアプリケーションへの迅速なアクセスと、デバイスや場所を問わず一貫したカスタム使用環境を提供

リアルタイムでのアプリケーションの配布と管理

- アプリケーションを容易にパッケージングして互換性の問題を回避
- 大規模な環境でアプリケーションを即座にプロビジョニング
- ユーザーが各自のデスクトップにログインしているときにも、アプリケーションをユーザー、グループ、またはデバイスに動的に関連付け
- アプリケーションをリアルタイムでプロビジョニング、配布、アップデート、削除

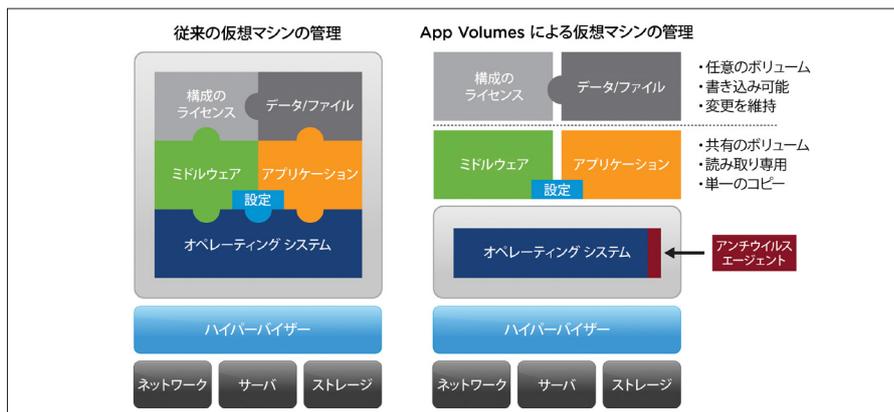


図 4 : App Volumes で管理する仮想マシンはオペレーティング システム上で仮想化され、アプリケーション、データ ファイル、設定、ミドルウェア、構成のライセンスは個別のレイヤーとして機能する。

イメージ管理

- Horizon を通じたデスクトップおよびアプリケーションのプロビジョニングをサポート
- VMware Mirage™ の統合イメージ管理をサポートするため、複数の仮想データセンターにわたって、物理マシンおよびフル クローンの仮想マシンを効率的に管理

分析および自動化

- VMware vRealize® Operations™ のデスクトップおよびアプリケーション用のクラウド分析機能により、VMware Horizon、Citrix XenApp、Citrix XenDesktop 環境全体の包括的な視認性を提供。IT 部門はデスクトップ サービスやアプリケーション サービスの健全性とパフォーマンスの最適化が可能

Software-Defined Data Center 向けに最適化

VMware vSphere® で培った知識や経験を活用、応用することで、デスクトップやアプリケーションの提供を簡素化することが可能です。Horizon 7 は、仮想コンピューティング、仮想ストレージ、仮想ネットワークおよびセキュリティにより仮想化を拡張することで、コスト削減、ユーザー使用環境の向上、ビジネスの俊敏性の向上を実現します。



図 5：VMware Horizon と VMware NSX の連携

Horizon 7 は VMware vSAN™ オールフラッシュをサポートします。vSAN は、ストレージのプロビジョニングを自動化し、直接接続型ストレージ リソースを活用して、デスクトップワークロードにかかるストレージ コストを削減できます。また、vSAN ReadyNode やほかのハイパーコンバージド インフラストラクチャ アプライアンスを活用して、コストが最適化され、スケーラブルで使いやすいデスクトップおよびアプリケーションの仮想環境をサポートすることも可能です。ネットワークとセキュリティの面では、Horizon と VMware NSX® (別売) を組み合わせて使用することで、エンド ユーザーにネットワークのセキュリティポリシーを迅速かつ容易に設定できます。ポリシーはデバイスや場所を問わず適用され、基盤となる物理インフラストラクチャへの変更の影響を受けません。

Horizon 7 の構成

VMware Horizon 7（オンプレミス）には次のエディションがあります。

- **Horizon 7 Standard** : 優れたユーザー環境を提供する、シンプルで強力な仮想デスクトップ インフラストラクチャ
- **Horizon 7 Advanced** : 統合ワークスペースを使用して、デスクトップとアプリケーションを費用対効果に優れた方法で提供
- **Horizon 7 Enterprise** : ジャストインタイム管理機能を備えた統合ワークスペースを使用して、デスクトップとアプリケーションを提供
- **Horizon Apps Standard** : シンプルかつ強力なアプリケーション仮想化と優れたユーザー環境を実現
- **Horizon Apps Advanced** : 強力なアプリケーション仮想化とジャストインタイム管理機能を提供

機能	サブコンポーネント / 製品	Horizon for Linux	Horizon Standard	Horizon Advanced	Horizon Enterprise	Horizon Apps Standard	Horizon Apps Advanced
ライセンス権限							
同時接続ユーザー単位		○	○	○	○	○	○
指定ユーザー単位				○	○	○	○
デスクトップおよびアプリケーション							
Windows 仮想デスクトップ	VMware Horizon		○	○	○		
Linux デスクトップ	VMware Horizon for Linux	○			○		
統合ワークスペース : XenApp、RDSH、SaaS、ThinApp	VMware Identity Manager Standard			○	○	○	○
公開アプリケーション (RDSH) とセッションベースのデスクトップ	RDS 公開アプリケーション			○	○	○	○
アプリケーションのパッケージング	VMware ThinApp		○	○	○	○	○
Blast Extreme プロトコル	VMware Horizon	○	○	○	○	○	○
Session Collaboration	VMware Horizon				○		
Virtualization Pack for Skype for Business	VMware Horizon			○	○		○
アプリケーションとデスクトップへのシングルサインオン アクセス	VMware Identity Manager Standard			○	○	○	○
Workspace Environment Management							
イメージ管理							
物理デスクトップのイメージ管理	VMware Mirage			○	○		
デスクトップとアプリケーションの管理							
リアルタイムでのアプリケーションの提供	VMware App Volumes				○		○
Instant Clone テクノロジーによるジャストインタイムの提供	VMware Horizon				○		○

機能	サブコンポーネント / 製品	Horizon for Linux	Horizon Standard	Horizon Advanced	Horizon Enterprise	Horizon Apps Standard	Horizon Apps Advanced
ユーザー環境の管理							
ユーザー、プロファイル、ポリシーの管理	VMware User Environment Manager				○	○	○
クラウドの分析と運用管理							
Help Desk Tool	VMware Horizon				○		○
運用ダッシュボード：健全性の監視とパフォーマンス分析	VMware vRealize Operations for Horizon				○		
キャパシティ管理：プランニングと最適化	VMware vRealize Operations for Horizon				○		
インフラストラクチャ							
ストレージ							
仮想ストレージ	VMware vSAN Advanced for Desktop (オールフラッシュ)			○	○		
デスクトップ インフラストラクチャ							
クラウド インフラストラクチャ	VMware vSphere Desktop と VMware vCenter Desktop	○	○	○	○	○	○

詳細情報

詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/go/jp-horizon7>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については VMware Horizon 7 のオンライン ドキュメントを参照してください。

